

堺のヒト・モノ・世界をつなぐ

堺IPC

SAKAI CITY INDUSTRIAL PROMOTION CENTER
www.sakai-ipc.jp

PRESS



● 特集

ものづくり企業で輝く 女性経営者たち

株式会社松本機械製作所 / 宝栄産業株式会社 / 関西触媒化学株式会社

- モノダン × モノジョ 8
「小さなバリも見逃さない、女性らしい丁寧な精密加工。」
喜田工作所 喜田 薫さん
- さかいモノ語り 11
「小麦粉の香り高い、天然酵母パン」
世界パン有限会社

2015.1
VOL.

34



洗濯機の修理から 遠心分離器メーカーへ

昭和14年、旋盤などの作業機械メーカーとして創業。戦後、洗濯機の製造経験のある技術者が入社したことで、「洗濯機の修理」を大きく掲げたところ、大手製薬会社から分離機の修理を打診されたのが、遠心分離器専門メーカーとしての発端となった。今日では、製薬業界でトップシェアを誇る。

社員の自主性を育むリーダーへ。

株式会社松本機械製作所 松本知華社長

「2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%以上に」昨年12月に発足した新政権が掲げる公約の一つです。かつては、男社会のようには思われていたものづくりの世界でも、最近、女性たちの活躍が多く見られるようになりました。

なかでも注目されるのが、しなやかにリーダーシップを発揮する女性経営者たちです。彼女たちの視点や感性が、これからの時代のものづくりを変えていくのかもしれない。

開発から製造、メンテナンスまで トータルプロデュース

薬品業界で約70%のシェアを誇る遠心分離器専門メーカーの(株)松本機械製作所。その強みは、ユーザー企業の多様なニーズに対応した豊富なラインナップと、さらに個々の用途や設置場所に最適な性能や仕様を提案するプロデュース力。それは、キズ一つも許さない製薬業界の高い要求レベルの中で鍛えられた同社の技術力に裏打ちされたものです。

こうした技術開発型のものづくり企業である松本機械製作所を率いるのは、松本知華社長。創業75年という節目に当たる昨年6月に就任したばかりです。松本社長にあらためて、同社の製品についてうかがいました。

「かつては大量生産対応型製品が最もよく売れましたが、最近は少量で効力を発揮する薬が主流となりつつあることから、当社の製品も少量多品種対応型へと売れ筋がシフトしています。さまざまなニーズに対応できるように多様な製品をご用意しており、例えばクリーンルーム内で厳しく原材料を管理されるお客様には、埃などが発生しやすいモーター部分を室外に出して設置できるように、斜め排出型の製品をご提案するなど、お客様の用途や使用環境、求められる性能などを営業がじっくりヒアリングした上でカスタマイズしています」。

出産・子育て時期を避けての社長就任という決断

ところで、松本社長が30代の若さで会社経営を引き継ぐこととなった経緯をうかがうと、そこには女性ならではの判断がありました。

「先代社長の父は以前から、60歳になつたら、二人姉妹の長女の私に経営を譲ると言っていました。ところが、父が60歳になる3年後は、私の出産や子育て時期と重なります。会社を守らなければいけない一方で、自分の家庭も守らなければならない。それは大変だと、自分のために時間に使える今のうちに経営を引き継いでおきたいと考えたんです」。

若い女性の経営者について、得意先企業をはじめ、周囲の反応は「就任の挨拶に回った時は、一様に驚かれました(笑)」。『女性で大丈夫?』と言われたこともありすが、技術的なことは現場がしっかり対応できるわけですし、むしろ、若いゆえのメリットを感じますね。社内外の諸先輩たちの懐に飛び込んで、教えを請いやすいですが」と松本社長。

いつか経営を委ねられることを前提に、法学部を選択していることも興味深い。「先々代の祖父は技術者でしたが、父は営業畑の人間でした。ものづくり企業のトップが技術者でなければならぬことはなく、契約など法務面をカバーできればと考えています」。

自主性の育成と技術の平準化、情報システムの構築でより強く

めざす経営者像について、松本社長は「父はいわゆる支配型経営でしたが、女性の私は、社員が自分で考えて行動できる自主性を育て活かせる母親的存在になりたいと思っています。私自身、子どもの時に『勉強しなさい!』と頭ごなしに言われると、逆にやる気が起きなかつた覚えがありますから。一方、誰がやっても均一に高品質なものづくりができるよう技術の平準化も必要だと考えています。さらに、帳簿や社員の記憶に頼る情報管理ではなく、利益

率や生産効率などをシビアに分析・管理するシステム作りも進めていきたいですね」。

ものづくりの現場に女性が増えていることを受け、女性にも扱いやすい製品づくりにも取り組みたいと語る松本社長。今後は、これまでに蓄積した同社独自のノウハウを活かし、食品や化学などの他業界でも積極的に販路を開拓していくほか、高速で回転する物の制振技術を分離機以外でも活用できるのではないかと模索中です。旧来の枠にとらわれないことのない柔軟性と、変えることを恐れない大胆さ。女性の強さを武器に、ますますの成長が期待される企業です。

株式会社松本機械製作所



る過の難しい自然物に対応した遠心分離機「HERVA」。大阪府立大学との共同研究で誕生した。



代表者名／代表取締役 松本知華
 本社／堺市堺区錦綾町 2-5-1
 TEL／072-229-3388 (代)
 設立／1939年設立
 資本金／1,100万円
 従業員数／50名
 事業内容／各種遠心分離機の開発・製作、遠心分離機に付属する化学機械・装置の開発・製造
<http://www.mark3.co.jp/>

女性ならではのきめ細やかな心配りで社員という家族が住むステージ作りを

時間があれば、現場を歩き回る。「女性の第六感というのでしょうか、いつも見ていると様子が違う時に『何かあったな』とすぐに気づきますね(笑)」と松本社長。また、お得意先へはもちろん、社員のお祝い事も大切に考える心配りは、女性らしい感性だといえる。「社会はより良くするには、男性だけでなく、女性の視点も重要なんですよ」と語られた。





|||||

case

02

光触媒入り塗料で地球環境に貢献

大阪府立大学との共同開発で商品化に成功した「オプティマス」は、光触媒の特性を最大限に活かし、耐汚染性や脱臭効果、空気浄化作用が期待できるほか、高い保温性から20%以上の節電効果があると実証されている。この開発技術が評価され、同社は「さかい環境チャレンジ企業」に認定されている。

誠実に堅実に育て上げて。

宝榮産業株式会社 高尾弘美社長

知識も技術もないまま

夫に代わって塗料メーカーを創業

何の知識も技術もないまま、突然に塗料メーカーを経営することになったと語るのは、宝榮産業(株)の高尾弘美社長です。自転車部品などを手がける鉄工所から転業しようと機械設備などを全て整えた夫が、創業直前に突然倒れ、代わって会社を立ち上げることになったからです。

「製造面はベテランの技術者がいたので不安はありませんでしたが、会社経営は無我夢中でした。仕事は何でも引き受けましたし、自ら車を運転して納品にも出かけましたね。」

当初は自転車のフレーム塗装など、それなりに注文はあったものの、外国産自転車に押されて発注が激減。耐熱塗料のOEM生産も溶剤系塗料の規制が厳しくなり、取引量が減るのかという時に、他から水性塗料の引合いがあったといいます。

「営業活動はほとんどしていなかったのに、いつも誰か人との出会いがあり、そこに新しい仕事もついてきました。恵まれていたんですね」と語る高尾社長ですが、人との出会いを呼んできたのは、常に手を抜かず、丁寧に製品づくりに向き合ってきたことへの信頼からだったのでしょうか。それは創業から30年経った今も、変わることなく貫かれている高尾社長

の方針に表れています。

創業時から変わらない、 経費を極力抑えた堅実な経営

「納品する塗料缶は、汚れ一つ許しません。ラベルも全て同じ位置にまつすぐ貼るよう指示しています。お店で商品のパッケージが汚れていたら嫌なのと同じです。今では製品を丁寧に扱うよう、社員が運送屋さんへ指示していますね(笑)」。

さらに、高尾社長が金融機関から絶大な信頼を得ているのは、その財務内容です。高尾社長の一人娘で、販売会社の佃オプティマスの社長を務めている高尾一美取締役が、「ムダな経費が全くない、見事にきれいな帳簿なんですよ。私も見習えと言われています(笑)。社長は未だに封筒をリサイクルして使っていますからね」と感心するほど。創業時の苦労を忘れず、派手に経費を使わない堅実は、女性経営者ならではの感覚だといえるかもしれません。

一方、次期社長を担う高尾取締役について、高尾社長は「強く営業できなかった私と違って、大企業の方を相手に負けていませんし(笑)、全く違うタイプの経営者ですね。彼女が開発から関わった光触媒入り遮熱塗料を、早く当社の柱に成長させてほしいと思っています」と大きな期待を寄せています。

待を寄せています。

産学官連携で商品化を実現した 期待の「光触媒入り遮熱塗料」

光触媒入り遮熱塗料「オプティマス」とは、光触媒が持つ自浄作用や空気浄化性能、遮熱効果を活かした特殊塗料で、外壁や内装に塗布することで、冷暖房エネルギーを大幅に節約できる効果が実証されています。誕生のきっかけは、高尾取締役が

タイで特殊塗料の販売会社を任されていた頃のこと。塗布面の汚れを防ぐために、現地スタッフに光触媒のクリアコートを上塗りさせたところ、塗り残しているところの汚れが逆に目立つてクレームになったのだとか。そこで塗料の中に光触媒を混ぜ込むと、今度は塗布面が劣化しやすくなる問題が発生しました。

光触媒の大きな可能性を確信した同社では堺市に相談、大阪府立大学との共同開発へ。約3年を経て、2012年に商品化に成功しています。

経済産業省の新連携事業に認定され、今年度はその一環として、海外展開のための事業化可能性調査等のF/S支援を受けることができ、得意先や提携先を求めてドイツに行きました。この製品は海外市場を視野に展開を図っていきたいと考えています」と高尾取締役は語っています。

地道に製造業を営んできた高尾社長と、アイデアを商品化につなげるプロデュース志向の高尾取締役と、経営の考え方も手法も異なる二人ですが、口を揃えて語るのには「ものづくりは面白い」ということでした。

「日本には世界に通用する人材がまだまだ少なく、女性の地位も低いと感じます。しかし、技術が全てのこの世界は、女性も男性と対等に活躍できる場です。ものづくりの奥深さ、その魅力を知ってほしいですね」と高尾取締役。自ら開発した「オプティマス」への思いを熱く語られるその姿から、ものづくりに女性でこそ活かせることが多くあるのではないかと感じさせられました。

母親のような気持ちで温かくも厳しく、 若手技術者を育成

現場での社員とのやりとりを大切にしているという高尾社長。スキルアップのための色彩検定試験などで不合格になった社員にも、母親のような気持ちで叱咤激励しているとか。その温かくも厳しい人育て術は、「世界で通用する人間にしたい」と、娘の高尾取締役を小さいうちからひとり海外に出していることにも表れている。



宝栄産業株式会社



◀光触媒入り遮熱塗料「オプティマス」は、内装用、外装用、コンクリート用をラインナップ。

代表者名／代表取締役 高尾弘美
本社／堺市中区大野芝町 94
TEL／072-235-1131
設立／1985年設立
資本金／1,200万円
従業員数／18名
事業内容／耐熱塗料・特殊遮熱断熱塗料の製造・販売
<http://www.optimus.jp/>



|||||||
c a s e

03

二次電池の進化を
支え続けて

ニッケル触媒からスタートし、今ではリチウムイオン電池の正極用材料の開発・製造を主軸に事業を展開。同社の強みは、自社独自の企画開発力。社内に中央研究所を抱え、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業などを活用して、さまざまな無機化学工業薬品の研究開発が進められている。

“奉仕型”で信頼と協力を獲得。

関西触媒化学株式会社 箕浦康子社長

**父親である創業者の思いを受け
専業主婦から社長へ**

戦後まもない1947年に、工業薬品メーカーとして創業した関西触媒化学(株)。創業者である先代から箕浦康子社長が事業を継いだのは、2003年10月のことでした。

「専業主婦だった私に、父から保険代理店の営業を任せられたのが約25年前。経理や保険のことを学びながら2年間、営業をやった後に、関西触媒化学に入社することになりました」と箕浦社長。入社後は、経営企画室や購買部、開発部など本社の中核ともいえる部署を転属されたとか。経営者としての土壌づくりが先代のねらいだったのでしよう。やがて常務となり、社内でも次期社長と自然に理解されていたといいますが、具体的にその話が持ち上がった時は、ビジネスにも薬品の製造技術についても未熟な自分が経営者になることが果たして会社にとって良いことなのかと3か月も悩んだといいます。

「3か月後、神様から御言葉が与えられ、使命と考え、父が創業し大切に育ててきた事業を承継する決意をしました。」と箕浦社長は語っています。

リチウムイオン電池の 長寿命化や高性能化に貢献

関西触媒化学は、二次電池や電子材料向けのニッケル化合物を主軸に、多様な化学工業薬品の製造を行っています。1964年に、ソ連(当時)でのタイヤゴム製造プラントの建設にもなつて、日本で初めて触媒や触媒技術を輸出。それをきっかけに、山口県に新工場を建設するなど、今から振り返れば、同社が次のステップへ大きく飛躍するきっかけだったと箕浦社長は言います。

二次電池の材料開発では約50年の歴史があり、なかでも同社が独自に展開しているニッケル系正極材は、レアメタルのコバルトに代わるものとして大変注目されています。今後、電気自動車やスマートハウスなどの普及が予想されるなか、同社の技術が生きるリチウムイオン電池のシェア拡大も期待されるところです。

「当社は自社独自の機械設備と、それを制御する製造技術の両方を持ち合わせており、その豊富なノウハウでどのような顧客ニーズにも迅速に応えられるのが、当社の強みだといえます」と箕浦社長。今後は、環境の浄化をテーマに、製造の過程で出る廃液のリサイクルや、または廃液を出さない材料開発などに取り組んでいきたいと抱負を語られました。

社員の自らの成長を促す サーバント・リーダーシップで

箕浦社長がめざす経営スタイルは、奉仕や支援を通して信頼を獲得し、主体的な協力を得る「サーバント・リーダーシップ」です。

「いわば、逆ピラミッド型ですね。現場の社員たちがやりがいを持って元気に働くことのできる環境づくり、それが私の役割だと考えています。先代は自分が一から作った会社なので、全てを把握していましたが、私は各部門長との信頼関係のもと、彼らに部門の運営管理を任せました。コミュニケーション経営と考えています」と箕浦社長。

ものづくり企業における女性の活躍については、「もはや、看護師は女性、運転手は男性という時代ではなくなりました。ものづくりの世界でもっと女性が増えてほしいですね。プロジェクトなどに女性が入っている方が、実質的でスピーディに進むことも多いようです」。

ご自身も製造業という男社会に飛び込まれたばかりの頃、『べっぴんさん』と呼ばば女性は喜ぶと考えているような男性がいたり、目立たないよう黒っぽい服ばかり着ていたこともあったとか。「しかし、最近女性経営者たちがはつらつと元気です。私も今は、自然体でいようと考える

ようになりました。」と輝くような笑顔で話されていたのが印象的でした。

3社の女性経営者たちからは「格好をつけない」「見栄を張らない」「わからないことは素直に教えを請う」「ムダな時間やお金は使わない」といったことが共通して語られました。堅実であるがゆえに決断力に劣るのか。いえ。全ての方が現状に甘んじず、大きなビジョンを描いていました。強さと優しさを備えて、女性経営者の活躍がますます期待されます。

就任直後の事業所巡りで 伝えたモットーは「信頼と希望と愛」

社長就任直後には、中期経営計画書を抱えて全事業所を回ったという箕浦社長。そこで全社員に伝えたモットー「信頼と希望と愛」には、お客様に信頼される製品づくりで、この会社を発展させ、そして厳しさをも持った愛でお互いの成長をめざすという思いが込められていたという。「現場には良く行って話をします。いろいろ教えてもらうことの方が多いいんですけどね(笑)」。



関西触媒化学株式会社



◀二次電池正極材に使われる硝酸ニッケルをはじめ、酢酸ニッケルや硝酸コバルトなど、触媒や表面処理材、磁性材などの工業薬品を多種製造している。

代表者名／代表取締役社長 箕浦康子
本社／堺市堺区柏木町 1-3-13
TEL／072-241-6200
設立／1947年創業 1957年設立
資本金／3億280万円
従業員数／84名
事業内容／触媒化学工業薬品の製造・販売
<http://www.kansyoku.co.jp/>

堺伝統産業会館の入場者数が 50万人を超えました

平成23年10月1日に堺の伝統産業の学習、展示、体験、販売を通じて市民や観光客の皆様にご覧いただける施設をめざし、リニューアルオープンした堺伝統産業会館の来場者数累計が平成26年11月7日（金）午後15時に節目の50万人を達成しました。

記念となる50万人目は、羽曳野市からお越しの徳田様です。市長及び堺市産業振興センター理事長と一緒にクス玉割を行い、花束と記念品として「堺打刃物」が手渡されました。

徳田さんは、夫婦で会社のOB会の下見で堺市内を回っていて、たまたま訪れたとのことで、まさか自分が50万人目になるなんて驚きました、幸運でしたと笑顔を見せられていました。



日本食品の総合見本市 シンガポール「Oishii JAPAN 2014」に出展

10月16日～18日、シンガポールで開催の見本市「Oishii JAPAN 2014」に、堺市から株式会社和泉利器製作所と大醬株式会社に参加しました。今年で3回目の開催となる「Oishii JAPAN」は、農林水産省などが後援するASEAN最大の日本食品総合見本市で、日本より266社・団体が出展しました。

包丁・調理器具メーカーである和泉利器製作所と醤油メーカーの大醬は、どちらも創業200年を超える地元の有名企業で、国内でも優れた技術力と製品で定評のある企業です。和泉利器は自慢の堺打刃物をはじめとする高品質の包丁を、大醬は主力の本格醤油に加え、現代的な味付けのオリジナル製品を持ち込み、シンガポールをはじめとするASEAN地域のバイヤーとの商談会にのぞみました。



2014年の「Oishii Japan 2014」の来場者数は3日間で1万人を超えました。昨年に比べ約75%も増加しており、今年3回目となるこの展示会が地域の人々に定着してきたことがうかがわれます。

包丁を出展していた堺市ブースですが、購入者の大半は、プロの料理人やレストランのオーナーなど食産業の方でした。洋包丁よりもプロ用的高级な和包丁が人気でした。打刃物のため、研がないと錆びてしまうということも認知されており、砥石もよく売れていました。

和包丁は現地日系デパートの「日本産品フェア」

などでしか手に入らないとのことで、ここぞとばかりに堺の打刃物を購入される人々で堺市ブースは大盛況でした。イベント主催者によると事前の調査で、堺の刃物ブースは全266社・団体中、第3位の人気だったとのことです。試食を実施した大醬も包丁と同じく、和食ブームに沸くシンガポールで高い関心を集めていました。特に人気が高かったのは、キムチや生姜風味のぼん酢やお醤油でした。シンガポールの方々にはスパイシーなものが人気のようです。

シンガポール中に溢れる日本語の文字を見ていると、日本製品が愛されて、浸透してきていることが実感できます。今後も堺の打刃物や食産品を、堺の文化や魅力とともに世界に広めていきたいと考えています。



👑 ものを作る、明日を創る。

モノダン × モノジョ

堺市内で活躍する若手社員「モノダン(ものづくり男子)×モノジョ(ものづくり女子)」を毎号ご紹介します。



小さなバリも見逃さない、女性らしい丁寧な精密加工。

以前は大手家電メーカーでノートパソコンの組立てに携っていたという喜田薫さん。木型製作から精密部品加工へシフトするために増設したマシニングセンタのオペレーターをやらないかと、父の喜田賢司社長から誘われて入社しました。

「最初は機械の操作なんて全くわからないので不安だらけでした。兄から操作を手取り足取り教えてもらいましたが、やっと一人で加工が任されるようになった時は嬉しかったですね。今では、難易度の高い加工を受けて悩みながらも仕上げた時の達成感に、ものづくりの魅力を感じます」。

入社から約10年、現在はCAD/CAMによるデータの作成や三次元座標測定機による検査も手がけるベテランです。喜田社長や兄の喜田幸司さんによれば、どんな小さなバリも見落とさず、丁寧に切削加工するところが女性ならではのところだと。

若い世代の人に向けて、薫さんは「昔と違い、今のものづくりはIT化によって加工技術もデータベース化されていますし、機械もスマホ感覚で操作できると思います。一方、人間の感覚も大切な世界なので、感性豊かな若い人にもっと活躍してほしいですね」と語っています。



👤 喜田 薫さん

喜田社長の長女として誕生し、小さい時から、工場に入って父の喜田社長が仕事をする姿を頼もしく見ていたという薫さん。父の技術に触れた最初は、木型の端材で作ってもらった鳥の置物だったとか。ご自身ものづくりが大好きで、木片を使って木工遊びをしていた思い出があるという。



喜田工作所

1954年の創業。鋳造用木型の国内需要の縮小を見据えて、アルミニウムの精密な切削加工へ事業を転換。その頃に受注した防衛機器の部品加工では、品質の向上とともに大幅な時間短縮を実現し高い評価を得た。医療機器製造許可も取得し、新領域への進出をめざす。

本 社 / 堺市堺区柳之町西 2-2-28 TEL.072-232-5456
<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~kidafactory/>

「さかい女性起業家セミナー」開催のお知らせ

・平成27年2月下旬開催・
先輩女性起業家による
体験談から学ぶ!



写真は前回の様子です

人口減少・少子高齢化の進展により労働力人口が減少している中、社会進出において女性が果たす役割はこれまで以上に大きなものとなっています。

また、女性ならではの感性や視点を活かすことで、従来になかった新たな価値やサービスが市場に提供されています。このような社会・経済環境のなか、さかい新事業創造センター（S-Cube）では、先輩女性起業家を招き、体験談を

交えたセミナーを実施することで、起業をめざす女性を応援しています。また、セミナー後には参加者交流会を開催し、ネットワーク形成の場も提供しています。

起業には興味があるが、不安を感じている方、起業準備が具体的に整っている方、既に起業している方も、お気軽にご参加ください!

(詳細は2月上旬にホームページにて発表予定です)

問い合わせ先 株式会社さかい新事業創造センター（S-Cube）

〒591-8025 堺市北区長曾根町130番地42 TEL:072-240-3775 FAX:072-240-3662 <http://www.s-cube.biz/>

「第3回さかい環境チャレンジ」認定企業のご紹介③

環境ビジネスに参入している堺市内の中小企業を「さかい環境チャレンジ企業」として認定しています。

詳細は当センターホームページをご覧ください。認定企業を掲載した冊子は当センターで配布しております。



(株)リバテック

<タービンハブ>

主な事業内容：自動車部品の製造

ポイント 性能と耐久性を維持したままタービンハブを軽量化。高精度な切削加工で、自動車の軽量化に貢献。

〒587-0042 堺市美原区木材通1-4-2

TEL 072-362-1181

URL：<http://www.rvatec.com/>



(株)古賀機械製作所

<各種自動化装置>

主な事業内容：専用機・省力化機械・NC工作機的设计および製作

ポイント オーダーメイドの機械製作で作業現場の効率化・省エネを実現。蓄積したノウハウを生かし幅広い業種に対応。

〒587-0061 堺市美原区今井88-1

TEL 072-289-7207

URL：<http://www.kogakikai.co.jp>



トップユニット5T-6

(株)サンコー

<高温用熱風発生機>

主な事業内容：電熱・計測事業・部品事業

ポイント 熱制御のスペシャリストである当社が、熱風発生機を小型化・省エネ化。アジア市場へ積極展開中。

〒599-8114 堺市東区日置荘西町1-53-35

TEL 072-287-1135

URL：<http://www.sankooo.com>



(株)堀内機械

<STPサーボシリンダ>

主な事業内容：各種油圧シリンダの製造・販売

ポイント JIS型シリンダの業界シェア40%を誇る当社。高精度で省エネの一体型油圧シリンダを開発。

〒590-0824 堺市堺区老松町1-37

TEL 072-241-1601

URL：<http://www.horiuchi.co.jp>



STPサーボシリンダ

サンスイエンジニアリング(株)

<次世代型浸漬膜処理システム>

主な事業内容：水処理装置と周辺機器の設計・開発、製造、販売

ポイント 独自技術が随所に光る小型膜処理装置。設置が簡単でメンテナンスも容易。

〒590-0958 堺市堺区宿院町西4丁1-6

TEL 072-223-1011



ジェット(株)

<スタンド型光触媒空気清浄機>

主な事業内容：光触媒空気清浄機の製造・販売、光重合による感光性樹脂板の輸出・販売

ポイント 光触媒を用いて室内有害物質を分解。フィルタ未使用で静音・省エネの新発想の空気清浄機。

〒591-8011 堺市北区南花田町147

TEL 072-250-5236

URL：<http://www.jet-japan.jp/>



ものづくり中小企業の採用力アップセミナー

～マーケティングの視点で採用を戦略的に展開し自社に必要な人材を確実に確保する～

本セミナーは、堺市内のものづくり中小企業が採用を戦略的に展開し自社に必要な人材を確実に確保できるよう採用ポテンシャル向上を図ることを目的としています。具体的には、採用戦略をマーケティングの発想で捉え、STEP1 自社の求める人材像を明確化、STEP2 その人材が存在する市場を的確に把握、STEP3 (オプション) 競合他社 (大手企業) に負けない採用コンテンツを構築し確実に欲しい人材を採るしくみを構築します。本講座で学んだマーケティングの視点の考え方は自社の営業活動等でも活用いただけます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

STEP1 自社の求める人材像を明確にする (自社の人材ニーズの明確化)

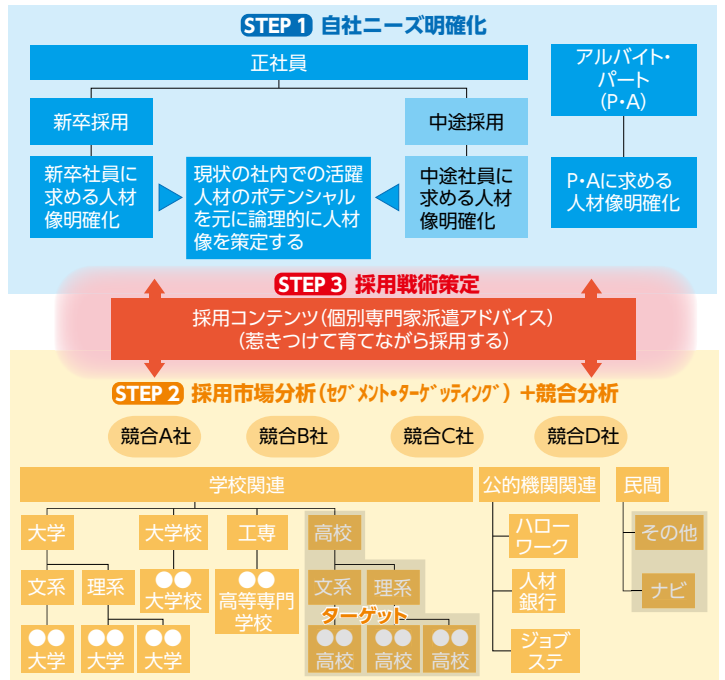
平成 27 年 2 月 10 日 (火) 午後 3 時間程度
講師 (株)そだてる 代表取締役
中小企業診断士 小畑 秀之 氏

STEP2 欲しい人材が存在する市場を見つけるとともに、競合他社を研究し対策を立てる (採用市場分析と競合対策)

平成 27 年 2 月 17 日 (火) 午後 3 時間程度
講師 ポロス 代表 中小企業診断士
小林 知彦 氏 (㈱リクルート出身)

STEP3 欲しい人材を確実に確保できるコンテンツを造り磨く (採用戦略策定)

自社が、欲しい人材を惹きつけて育てながら採用する仕組みづくり (専門家派遣による個別サポート)
平成 27 年 4 月以降 個別対応 (要望企業)



■対象 堺市内のものづくり中小企業の経営者 人事関連責任者 ■受講料 7,000 円 / 社

■定員 10 社 20 名程度 ■会場 堺市産業振興センター セミナー室 1

■問合せ先 堺市産業振興センター 経営支援課 小松、中辻 TEL: 072-255-6700 FAX: 072-255-1185

詳細は、堺市産業振興センターホームページをご覧ください。 <http://www.sakai-ipc.jp/>

イベントホール 受付開始日変更のご案内

●平成27年4月1日より、イベントホールについては、展示会形式でご利用の場合は使用日の1年前の日の属する月の初日から、ホール形式でご利用の場合は使用日の 11ヶ月前 の日の属する月の初日からお申し込みを受け付けます。



イベントホール (ホール形式)



イベントホール (展示会形式)

堺市産業振興センター 貸会場お問い合わせ先 TEL: 072-255-0111 センターホームページ (<http://www.sakai-ipc.jp/>)

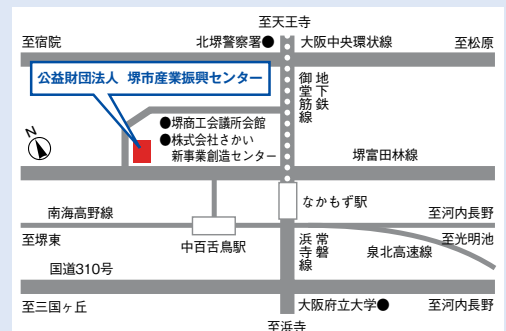
中小企業を
全力応援

公益財団法人
堺市産業振興センター

堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL.072-255-3311 (代) FAX.072-255-5200
<http://www.sakai-ipc.jp/>



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m◎地下鉄御堂筋線なかもず駅より約300m※駐車場は、隣接の来客用駐車場 (無料) がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



さ
か
い
mono
モ
ノ
語
り

小麦粉の香り高い、天然酵母パン

種おこしから60時間以上をかけてじっくり焼き上げられるという「世界パン」の天然酵母パン。二つに割ったときに立ちのぼる、小麦粉の何ともいえないおいしそうな香りに驚かされます。添加物は一切使わず、小麦粉は北海道産の自家ブランド。その他、赤穂の天然塩や鹿児島県種子島の洗双糖、そして三重県のこだわり卵と、原材料は全て国内産にこだわっています。

製造を任されている今井英徳専務は「天然酵母はデリケートで醗酵にも時間がかかる分、温度や湿度の管理が難しく失敗のリスクも高いですが、ゆっくり熟成させるので、まったりとした味わいになります。最近は製法の異なるルヴァン種を使ったパンも焼き始めました。外はパリッ

としているのに、中はしっとりというのが特徴ですね」と語っています。「お料理と一緒に毎日食べても飽きないパンをお届けしたい」という創業からの思いが貫かれ、店頭によく並んでいるのは食パンやフランスパン、ドイツパンなど。親子二代にわたってファンだというお客様が多いのもうなずけます。



「赤ちゃんの離乳食にも食べていただくように」と卵やバターを使わないパンは、アレルギーを持つお子さんのために買って帰られることも。また、病院から世界パンを指定され、塩を控えたパンを買いに来られたお客様もいたという。

世界パン有限公司



今井與里子社長(右)と今井英徳専務

創業は、大阪万博の開幕と同じ1970年3月。今年、45周年を迎えます。「万国博覧会にあわせ、世界のお料理に合うパンをというので、この店名になりました」と今井與里子社長。ご自身の子育て経験から「子どもたちに安心して与えられるパンを作りたい」と天然酵母や国内産原料にこだわり始めたものの、ドイツパンなどが今ほど馴染みのなかった当初、大量に売れ残ったというご苦労も。今では、世界パン専用の冷凍庫を用意して、遠方からまとめ買いしに来るファンがいるほどの人気店です。

高校卒業と同時にパン作りに携わって 20年という今井英徳専務は「パンづくりが楽しくなったのは、ある尊敬するパン職人さんと出会いから。日本人の口に合う、日本人のためのパンづくりがあるはずだと言われ、自分の店でしか作れないものをめざしていこうと励まされました。コントロールの難しい天然酵母ですが、これからも安定して高品質なパンを作り続けたいですね」と語っています。

●本社/堺市堺区向陵西町1-9-13 ☎072-221-9061
●営業時間/ 10:00~19:00 ●木曜定休